

# 第6次鶴田町総合計画策定に関する アンケート調査についてのご報告①

## 総合計画とは？

総合計画とは、地方自治体における行政運営の最上位計画であり、住民全体で共有する自治体の将来目標や施策を示し、全ての住民や事業者、行政が行動するための基本的な指針となるものです。

鶴田町では現在、「第5次鶴田町総合計画」【平成25年度（2013）から令和4年度（2022）】により、総合的かつ計画的な町政運営を図っておりますが、令和4年度に最終年度を迎えることから、現在「第6次鶴田町総合計画」を策定しております。

町では町民の声を新たな総合計画に反映させるため、昨年12月に町民アンケートを実施しました【協力：弘前大学人文社会科学部】ので、アンケートの結果を複数号にわたってご紹介いたします。

## 調査の概要

|      |               |
|------|---------------|
| 送付者数 | 2,000 人       |
| 回答者数 | 1,112 人       |
| 回答率  | 55.6%         |
| 調査期間 | 令和3年12月1日～17日 |

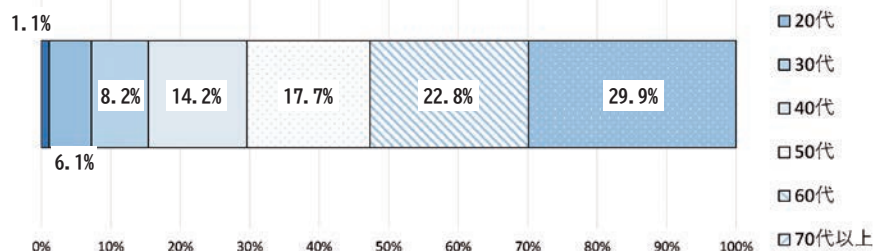
- ・調査対象者  
町内にお住まいの方（18歳～80代の町民）
- ・抽出方法  
地区別、年代別、性別の人口割合に応じて無作為抽出
- ・調査方法  
調査票を郵送後、郵便で回収

たくさんのご回答  
ありがとうございました



## 回答者の属性

### 年齢区分



回答者は10～30代が15.4%、40～50代が31.9%、60代以上が52.7%と、やや高齢者に偏っています。

それにもとない就業状況は無職が27.9%を占め、次いで正規社員21.3%、農林水産業18.2%となっています。

## 事業の満足度（平均点）

「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とした満足度の平均点です。39項目から上位と下位の5項目を抜粋。

上位は保健サービス・上下水道・子育て支援など、下位は雇用・空き家対策などとなっています。

| 上位 5 項目           |      | 下位 5 項目     |      |
|-------------------|------|-------------|------|
| 健診・検診・指導などの保健サービス | 3.16 | 働く場の確保      | 2.03 |
| 上下水道の整備           | 2.97 | 商店街の活性化     | 2.07 |
| ごみの分別、減量化         | 2.91 | 賃金等、労働環境の改善 | 2.10 |
| 介護サービス・施設         | 2.86 | 空き家の利活用支援   | 2.12 |
| 保育サービス            | 2.85 | 二酸化炭素排出量削減  | 2.19 |

## 事業の重要度（平均点）

「重要」を4点、「やや重要」を3点、「やや重要でない」を2点、「重要でない」を1点とした重要度の平均点です。39項目から上位5項目を抜粋。

雇用・除排雪・医療福祉・子育て支援分野の重要度が特に高いと考える人が多く見られました。

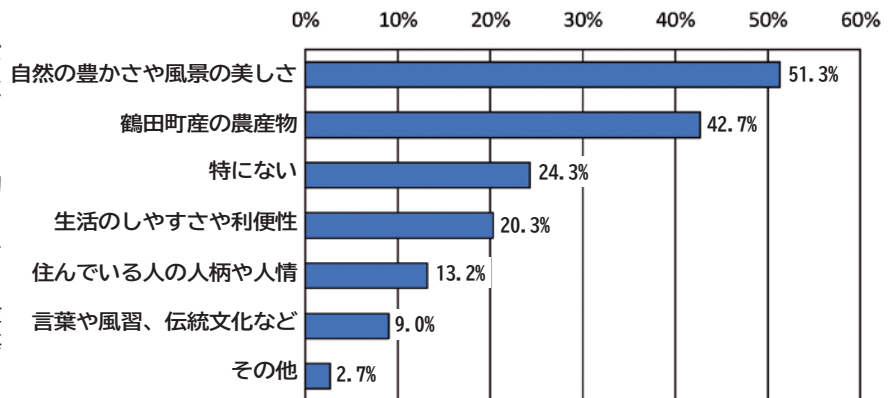
| 上位 5 項目           |      |
|-------------------|------|
| 働く場の確保            | 3.63 |
| 除排雪サービス・施設        | 3.61 |
| 子ども向け医療サービス・施設    | 3.59 |
| 健診・検診・指導などの保健サービス | 3.58 |
| 子育て環境支援           | 3.57 |

## 町民が思う鶴田町の魅力はなに？

「鶴田町について、ほかの市町村の人に自慢したいことは何ですか」に対し、「自然の豊かさや風景の美しさ」が51.3%、「鶴田町産の農産物」が42.7%となったことから、鶴田町民は自然や食に大きな魅力を感じていることがわかりました。

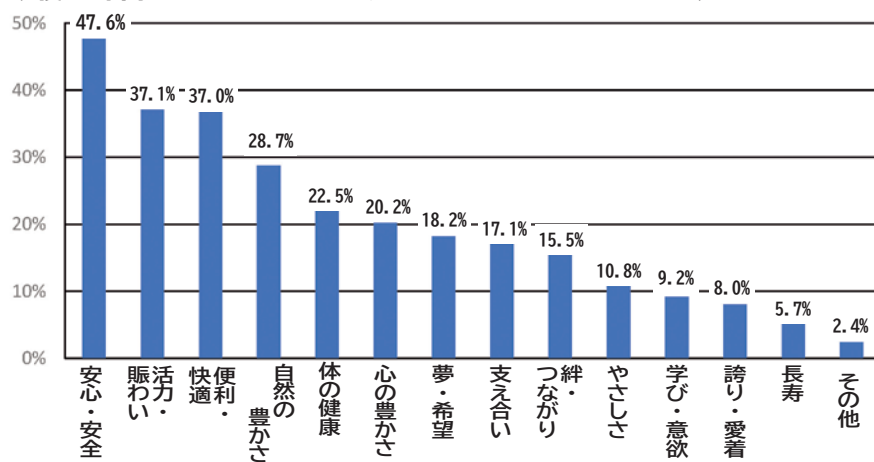
また、上記の2項目について特徴的なのが、60代以上の方や農林水産業に就業している方の関心が高いことです。このことから長く鶴田町に居住している人や、日常で自然とふれあう環境にいる人が、地元の農産物・自然等を自慢したいと感じる傾向にあることがわかります。

鶴田町について、ほかの市町村の人に自慢したいことはなに？  
（あてはまるものすべてを選択）



## 町民が考える今後10年間のまちづくりキーワード

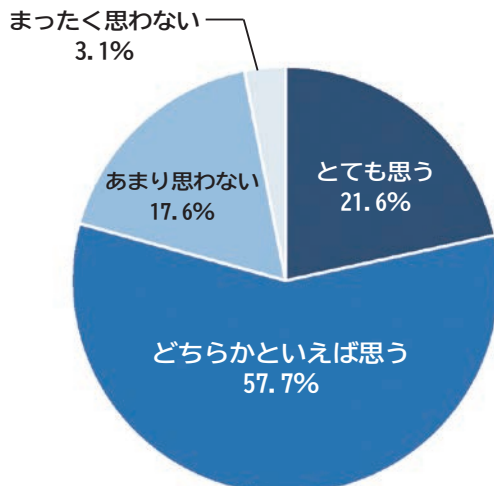
今後10年間のまちづくりにおいて、キーワードとなるものはなに？（主なもの3つまで）



町民が考える今後10年間のまちづくりのキーワードは、「安心・安全」が47.6%と最も高く、次いで「活力・賑わい」(37.1%)、「便利・快適」(37.0%)、「自然の豊かさ」(28.7%)となっています。

年齢別に見ると、「便利・快適」を選択した10代から20代の若年層が5割～8割、30代から40代の中間層が約5割となっており、高齢者よりも便利さ・快適さが重要だと考えている人が多いことがわかりました。

## 今後も鶴田町に住み続けたいですか？



今後も鶴田町に住み続けたいと思うかどうかについて、全体としては8割の人が住み続けたいと答え、2割の人が住み続けたくないと答えました。

年齢別に見ると若い世代ほど「住み続けたくない」と答える人の割合が高くなっています。

### 住み続けたい理由（上位3つ）

- ・生まれ育った町だから
- ・自然環境が豊か
- ・親しい人間関係がある

### 住み続けたくない理由（上位3つ）

- ・交通が不便
- ・娯楽や余暇を楽しむ場が少ない
- ・買い物や通院など日常生活が不便